

城西コミュニティ

地域で伝える 学びの輪

城西コミュニティでは、子どもから大人まで地域の人みんなが学べる場を目指し、活動しています。今回はその取り組みを紹介します。

教育など暮らしに役立つ講座を開き、毎回30〜40人程度が出席。ボランティアで来てくれる講師の話に熱心に聞いています。何歳になっても学べることで、参加者からは「人生が豊かになる」という声があがっています。

人生が豊かになる学びの場

城西コミュニティでは、概ね毎月1回学びの講座を開催しています。これまで、健康、環境、金銭

話題のエンディングノートも

講座の1つにエンディングノートについて学べるものがあります。人生の終焉を考えると、最



子どもたちは八朔だんご馬作りに釘付け

期まで自分らしく生きるための準備をする終活。それには、自分の思いや希望など、家族に伝えておきたいことをまとめるエンディングノートが欠かせません。講座の参加者からは、「近年関心が高まっているテーマなので気になっていたが、受講してさらに興味が湧いた。元気なうちに財産整理や遺言書の作成を始めた」など、学んだことを実践したいという感想が多くありました。

学んだことを次世代へ伝承

学んでいるのは大人たちだけではありません。地域に伝わる八朔だんご馬や月菜汁、かるた遊び、「天守閣のある町城西」としての歴史などを子どもたちに継承しています。子どもたちにとっては、古くからの伝統行事を学べるだけ



かるた遊びを次世代の子どもたちへ

でなく、地域の大人たちと交流するよい機会にもなっています。また、大人たちにとっても子どもたちに教えることで新たな発見につながり、自分自身の学びの場にもなっています。

これからも子どもから大人までみんなが学べる地域として、城西コミュニティの取り組みは続きます。



講座を受けて新しい知識を

毎月の講座が楽しい

城西コミュニティ  
宮脇 雅代さん  
(中府町)



コミュニティの活動で講座などを受けようになり、学びの場が増えました。講座は興味や関心を広げてくれるので、いつも楽しみです。これまでの講座では、自分自身が終活について考えるのにちょうどよい年齢になってきたので、エンディングノートの講座が印象に残っています。子どもから自分がいなくなった後のことを聞かれるよりも、先に自分の意思を伝えることが大切です。最期は「ありがとう」という言葉で旅立ちたい。それを考えるきっかけになるのがエンディングノートだと学びました。これからも講座を受けて勉強を続けるとともに、地域の子どもたちが学べる場を提供するお手伝いができたらと思います。